12月17日（日）12:00～ 選挙、13:00～ 大寄合いです！！！

白川郷荻町集落の自然環境を守る会　令和5年12月号

ねそ

守る会ホームページ　http://shirakawa-go.com/~ogimachi/

景観保全に関するアンケート結果を踏まえて 地域座談会を開催しました

11月22日（水）荻町公民館にて開催した見出しの座談会に、8名の方が参加くださいました。アンケート結果によれば、現状少なくとも165台の屋外駐車があり、そのうち車庫があれば格納したい車は65台。つまり、残る100台は屋外駐車のままでよいと感じていることについて、様々な意見を聞くことができました。主な意見を以下にご紹介します。

なお、本件に関するご意見、ご要望などは今後も随時受け付けていますので、お気軽に村教育委員会（5-2180）または合掌造り保存財団（6-3111）までお問い合わせください。いただいたご意見を参考に、今後の支援策のあり方を、さらに検討してまいります。［合掌造り保存財団］

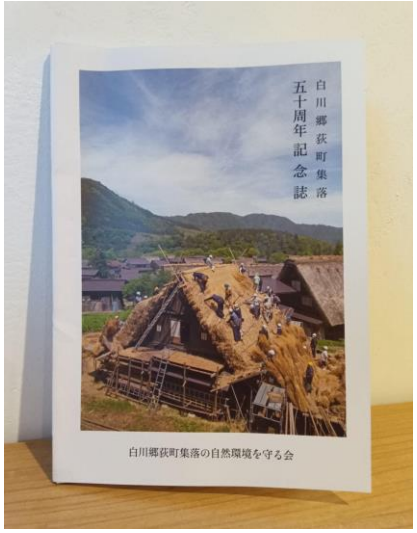
- **頻繁に使う車は近くに置きたい**が、**あまり使わない車は離れた場所でも良い**。
- 相倉集落は早期に共同車庫の運用を開始したため、最も遠い利用者宅は車庫から200m離れているものの、景観保全ということで理解を得られ現在に至っている。
- 合掌造り保存財団が土地を工面し、利用希望者を募り共同車庫を建築する支援策では、**相続の問題が生じるため賃貸料を徴収する方策の方が良いのではないか**。
- ひと昔前に、次男や三男が帰ってきた際に住む家が建てられないという家の建て詰まり問題があり、戸ケ野に住宅土地を整備していただいた。一方、現在は**空家、空地による歯抜けの問題が生じている**。戸ケ野の住宅土地も残り２区画となっていることから、こうした空家や空地（宅地に限る）に**個人の車庫や住宅を建てられる方策も今後検討する必要があるのではないか**。
- 荻町集落内には、店舗に通勤してくる従業員の車両や、卸のための営業車両なども昼間多く見られる。集落内住民の所有車両だけでなく、そうした**集落外から昼間に行き来する車両についても景観上の配慮を求めるべき**ではないか。
- 荻町集落内から完全に屋外駐車をなくすことはできないが、**少しでも減らせられるよう取組みは継続してやっていくべき**。
- まさに今、空家家屋の対処に苦慮している組があり、モデル事業としてそうした組に支援策を講じてみると、少しずつ理解が得られていくのではないか。

◆三村交流会開催！･･･12月3日（日）相倉集落にて見出しの会が開催されました。荻町からは22名の住民が参加。「アフターコロナを迎えて」をテーマに、各集落から現況報告を実施。荻町からは守る会の活動として、茅刈りイベントや茅葺技術継承への取り組み、会報誌ねそによる情報発信についてお話しました。菅沼集落からは、企業と連携した茅場の保全活動や、車庫が不足している不安感等の共有があり、相倉集落からは「世界遺産に住まんまい家？」プロジェクトに応募し、住民の歓迎を受けて移住された2組の方が、移住して感じたこと等をお話くださり、その後の懇親会では、お酒を酌み交わしながら、大いに盛り上がりました。

　同会は平成7年の世界遺産登録を機に、荻町集落・相倉集落・菅沼集落の3集落が住民の交流、親睦、課題の共有を図ることを目的にスタートした会です。次回（未定）の開催地は荻町となりますので、住民皆様には多数ご参加いただけたらと思います。

◆守る会50周年記念誌が完成！･･･令和3年に守る会設立50周年を迎えたことを機に企画、編集を進めていた見出しの記念誌『白川郷荻町集落 五十周年記念誌』。ようやく、みなさんのお手元にお届けできる時がやってきました。

　「荻町の50年を振り返り、未来につなぐ」がコンセプトである同誌は、和田正人氏（守る会前会長）による、ねそを活用した同会の取り組みを振り返るコーナーから始まり、コロナ禍のためオンライン開催となった「これからを考える荻町未来会議」のこと、現在、重点的に取り組んでいる空き家対策や茅文化の普及について等、今までの守る会の歴史や、住民の保全活動がわかりやすく記録されており、荻町が唯一無二の地域であることに、改めて気づくことができる内容で構成されています。



　「荻町構想計画会議」にアドバイザーとして参画くださっている麻生美希氏（同志社女子大学准教授）による空き家対策のコーナーでは、近い将来ではなく、今既に住民が抱えている不安と、自分たちで守りたいという強い思いの間で揺れる我々の複雑な気持ちが明文化されており、目的と手段を取り違えることなく、保全活動で大切なことが何なのかが見えてくるような気がします。また、空き家という、極めて個人的な問題にも、地域「みんなで」解決に向かっていく必要性が理解できる内容にもなっています。

　「荻町の50年を振り返り、未来につなぐ」。50年後も、自分自身に、そして世界に誇れる地域であるために、同誌が地域を見つめ直す一助となれば幸いです。

11月の活動報告　※1月の定例会は11日（木）を予定（公民館和室にて）

4日	茅刈りイベント（茅刈り・交流会）	22日	地域座談会
5日	茅刈りイベント（オダレづくり）	26日	センガ岩倉庫冬期使用入替（一般環境部）
9日	定例会	30日	荻町区会計監査（事務局長）
10日	ねそ11月号発行（総務部）	随時	旧寺口家オダレづくり（福田・有志）
10日	茅場草刈り （会長）	随時	旧寺口家雪囲い（福田・有志）

12月の協議事項（現状変更申請に関わって）　12月11日開催

　白川村建設課･･･側溝蓋の追加